

令和7年度

青森県考古学会秋季大会



青森県には尖底土器を特徴とする縄文時代早期の遺跡が多く所在します。これらの遺跡の発掘調査成果により、縄文時代早期の土器編年の研究が進んだだけでなく、社会内容などが明らかになり、学史にも大きな影響を及ぼしてきました。今回あらためて県内の縄文時代早期の諸様相を検討し、今後の課題を洗い出します。

もなたでも参加出来ます！
**申込不要
参加無料**

青森県の縄文時代早期を 探る 尖底土器の世界

●日時

令和7年11月15日(土)
13:00~16:25(閉館17:00)

●場所

八戸市埋蔵文化財センター

是川縄文館 1F 体験交流室

是川縄文館 令和7年度 秋季企画展
『その土器は三角形▼ 尖底土器の世界』
会期：令和7年10月4日~11月24日

開催中

●内容

- 発表① 「貝殻文土器の変遷～青森県史から～」
長尾正義（青森県考古学会員）
 - 発表② 「北東北太平洋側における
縄文時代早期の生業」
杉山陽亮（是川縄文館）
 - 発表③ 「縄文早期の段階設定と
北海道との対応・交流関係」
根岸洋（東京大学大学院）
 - 発表④ 「小川原湖周辺の縄文時代早期の様相」
工藤司（三沢市教育委員会）
 - 発表⑤ 「新井田川下流域の縄文時代早期の様相」
山田貴博・小笠原善範（是川縄文館）
- ミニ討論会
コーディネーター 市川健夫（八戸市博物館）

◆主催：青森県考古学会 ◆共催：八戸市教育委員会

◆お問い合わせ：青森県考古学会事務局
◆担当：岡本 ◆電話：090-8236-3043